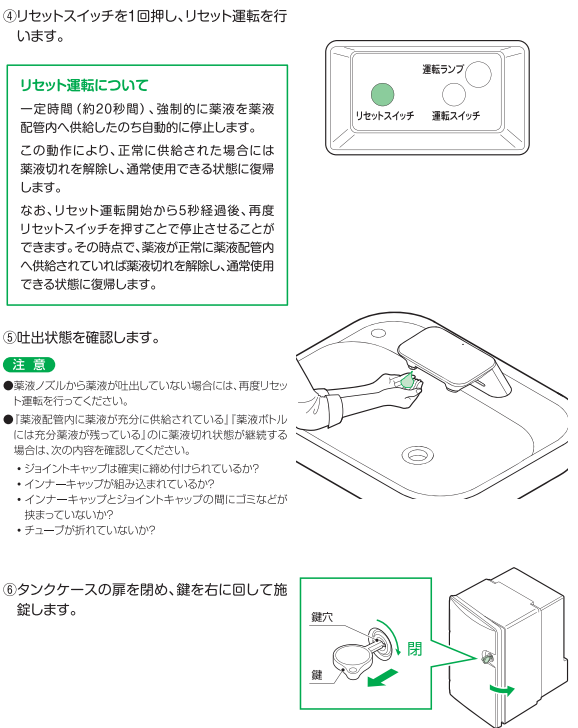


④リセットスイッチを1回押し、リセット運転を行います。

リセット運転について
一定時間(約20秒間)、強制的に薬液を薬液配管内へ供給したのち自動的に停止します。この動作により、正常に供給された場合には薬液切れを解除し、通常使用できる状態に復帰します。なお、リセット運転開始から5秒経過後、再度リセットスイッチを押すことで停止させることができます。その時点で、薬液が正常に薬液配管内へ供給されていれば薬液切れを解除し、通常使用できる状態に復帰します。

⑤吐出状態を確認します。
注意
●薬液ノズルから薬液が吐出していない場合には、再度リセット運転を行ってください。
●薬液配管内に薬液が十分に供給されている「薬液ボトルには充分薬液が残っている」に薬液切れ状態が継続する場合は、次の内容を確認してください。
・ジョイントキャップは確実に締め付けられているか?
・インナーキャップが組み込まれているか?
・インナーキャップとジョイントキャップの間にゴミなどが挟まっているか?
・チューブが折れていないか?

⑥タンクケースの扉を閉め、鍵を右に回して施錠します。



長期間使用しない場合

注意
本製品は、毎日使用されることを前提に設計しています。長期間使用せずそのまま放置すると、異物(薬液が乾燥した際に発生する残留成分、固化した薬液など)がノズル先端や部品内部をふさぎ、作動不良や故障の原因になります。また、水や薬液の腐敗、漏電、火災、故障の原因になります。

1 止水

- ①止水栓のハンドルを閉じます。
- ②水ノズルの下に手を差し出し、圧抜きと止水確認を行います。

2 薬液抜き(タンクケース)

- ①タンクケースの扉を開けます。
- ②薬液ボトルを取り出します。
- ③リセットスイッチを1回押し、リセット運転(空運転)を行います。
- ④空の薬液ボトルに市販の消毒用エタノール(未変性)を補充し、タンクケースに装着します。
- ⑤リセットスイッチを1回押し、リセット運転を行います。
- ⑥薬液ボトルを取り出します。
- ⑦空の薬液ボトルを用意し、タンクケースに装着します。

3 電源を抜く

- ①運転スイッチを“OFF”にします(運転ランプが消灯します)。
- ②電源コンセントから電源プラグを抜きます。

注意
●薬液ボトルの装着・取り外しについては7~9ページを参照してください。
●薬液ボトル内の薬液はそのまま長時間放置すると、異物混入や乾燥による固着、異臭、変性を起こす恐れがあるので、すべて破棄してください。また、空になった薬液ボトルは水洗いし、十分に乾燥させてください。
●空の薬液ボトルは、水洗いで十分に乾燥させたものを使用してください。

使用方法

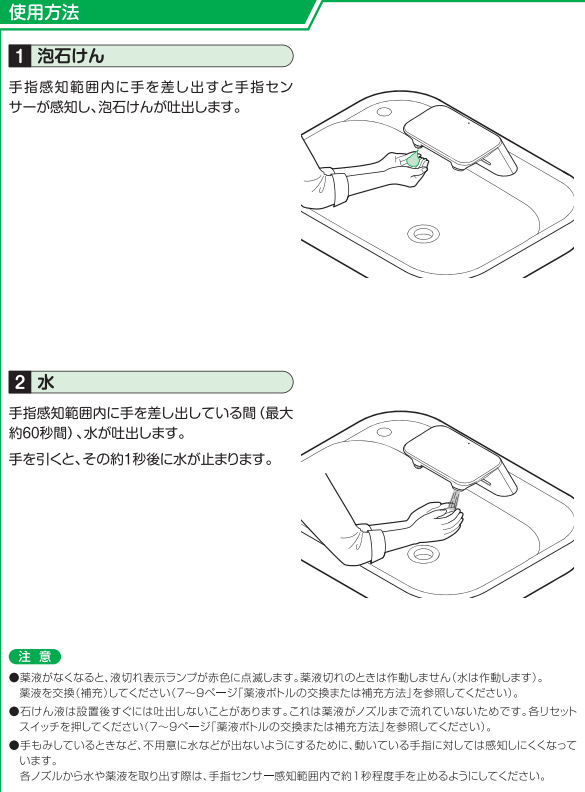
1 泡石けん

手指感知範囲内に手を差し出すと手指センサーが感知し、泡石けんが吐出します。

2 水

手指感知範囲内に手を差し出している間(最大約60秒間)、水が吐出します。手を引くと、その約1秒後に水が止まります。

注意
●薬液がなくなると、液切れ表示ランプが赤色に点滅します。薬液切れのときは作動しません(水は作動します)。薬液を交換(補充)してください(7~9ページ「薬液ボトルの交換または補充方法」を参照してください)。
●石けん液は設置後すぐには吐出しないことがあります。これは薬液がノズルまで流れていないためです。各リセットスイッチを押してください(7~9ページ「薬液ボトルの交換または補充方法」を参照してください)。
●手もみしているときなど、不用意に水などが出ないようにするために、動いている手指に対しては感知しにくくなります。各ノズルから水や薬液を取り出す際は、手指センサー感知範囲内約1秒程度手を止めるようにしてください。



本体の掃除

本製品を永くお使いいただくため、定期的にお手入れをしてください。お手入れの際、必ず運転スイッチがOFFになっていることを確認して、電源プラグを抜いてください。汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、適度に薄めた中性洗剤をふくませた布で拭き取ってください。そのあと、水で濡らしてよく絞った柔らかい布で洗剤を拭き取り、最後に柔らかい布で拭き取ってください(手指センサー部除く※)。
※手指センサー部は下記の要領で掃除を行ってください。

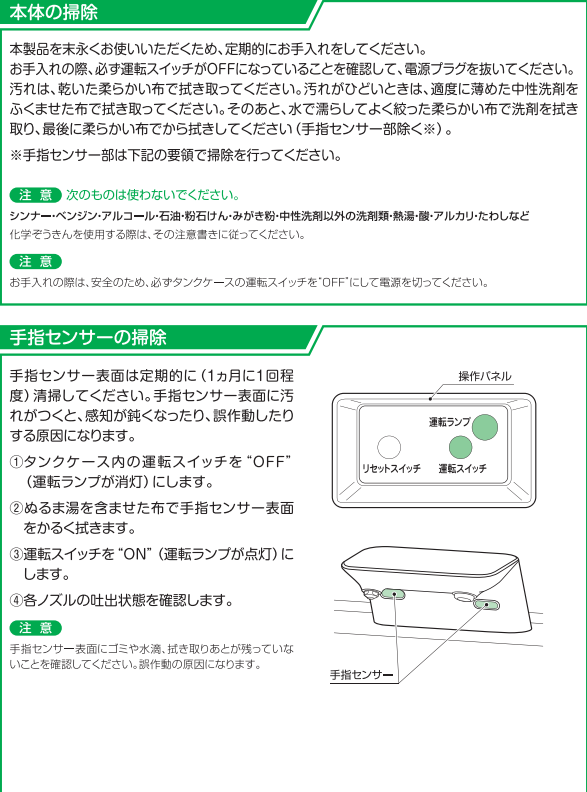
注意 次のものは使わないでください。
シンナー・ベンジン・アルコール・石油・石けん・みがき粉・中性洗剤以外の洗剤類・熱湯・個・アルカリたわしなど
化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きに従ってください。
注意
お手入れの際は、安全のため、必ずタンクケースの運転スイッチを“OFF”にして電源を切ってください。

手指センサーの掃除

手指センサー表面は定期的に(1ヵ月に1回程度)清掃してください。手指センサー表面に汚れがつくと、感知が鈍くなったり、誤作動したりする原因になります。

- ①タンクケース内の運転スイッチを“OFF”(運転ランプが消灯)にします。
- ②ぬるま湯を含ませた布で手指センサー表面をかるく拭きます。
- ③運転スイッチを“ON”(運転ランプが点灯)にします。
- ④各ノズルの吐出状態を確認します。

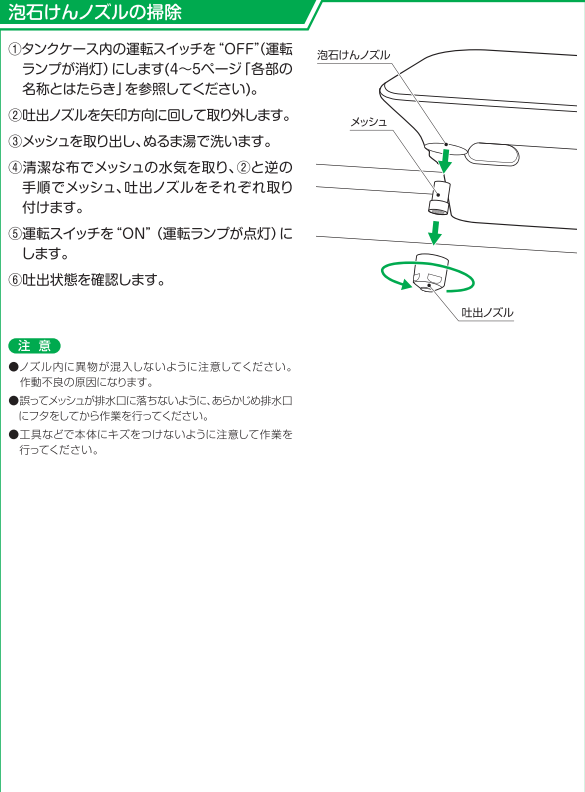
注意
手指センサー表面にゴミや水滴、拭き取りあとが残っていないことを確認してください。誤作動の原因になります。



泡石けんノズルの掃除

- ①タンクケース内の運転スイッチを“OFF”(運転ランプが消灯)にします(4~5ページ「各部の名称とはたらき」を参照してください)。
- ②吐出ノズルを矢印方向に回して取り外します。
- ③メッシュを取り出し、ぬるま湯で洗います。
- ④清潔な布でメッシュの水気を取り、②と逆の手順でメッシュ、吐出ノズルをそれぞれ取り付けます。
- ⑤運転スイッチを“ON”(運転ランプが点灯)にします。
- ⑥吐出状態を確認します。

注意
●ノズル内に異物が混入しないように注意してください。作動不良の原因になります。
●錆つたメッシュが排水口に落ちないように、あらかじめ排水口にフタをしてから作業を行ってください。
●工具などで本体にキズをつけないように注意して作業を行ってください。

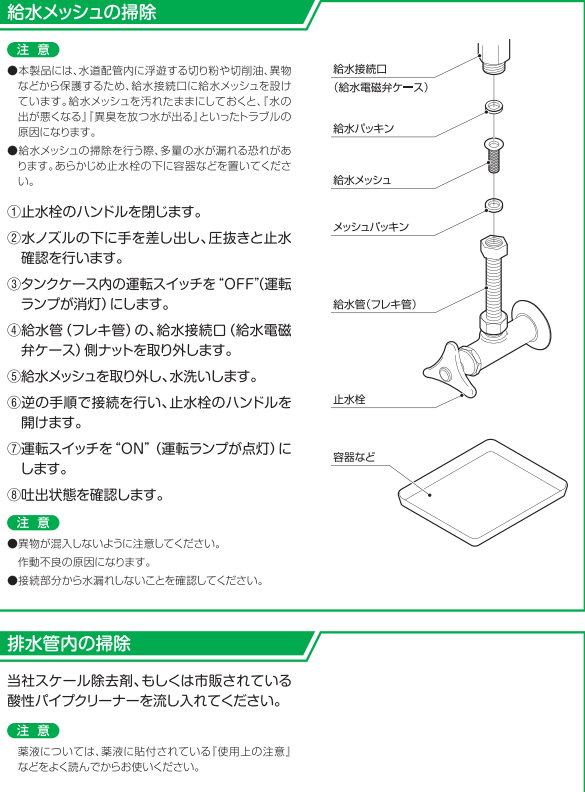


給水メッシュの掃除

注意
●本製品には、水道配管内に浮遊する切り粉や削切屑、異物などから保護するため、給水接続口に給水メッシュを付けています。給水メッシュを汚れたままにしておくと、「水の出しがなくなる」「異臭を放つ水が出る」といったトラブルの原因になります。
●給水メッシュの掃除を行う際、多量の水が漏れる恐れがあります。あらかじめ止水栓の下に容器などを置いてください。

- ①止水栓のハンドルを閉じます。
- ②水ノズルの下に手を差し出し、圧抜きと止水確認を行います。
- ③タンクケース内の運転スイッチを“OFF”(運転ランプが消灯)にします。
- ④給水管(フレキ管)の、給水接続口(給水電磁弁ケース)側ナットを取り外します。
- ⑤給水メッシュを取り外し、水洗いします。
- ⑥逆の手順で接続を行い、止水栓のハンドルを開けます。
- ⑦運転スイッチを“ON”(運転ランプが点灯)にします。
- ⑧吐出状態を確認します。

注意
●異物が混入しないように注意してください。作動不良の原因になります。
●接続部分から水漏れしないことを確認してください。



排水管内の掃除

当社スケール除去剤、もしくは市販されている酸性パイプクリーナーを流し入れてください。

注意
薬液については、薬液に貼付されている「使用上の注意」などをよく読んでからお使いください。

長期間使用しない場合

注意
本製品は、毎日使用されることを前提に設計しています。長期間使用せずそのまま放置すると、異物(薬液が乾燥した際に発生する残留成分、固化した薬液など)がノズル先端や部品内部をふさぎ、作動不良や故障の原因になります。また、水や薬液の腐敗、漏電、火災、故障の原因になります。

1 止水

- ①止水栓のハンドルを閉じます。
- ②水ノズルの下に手を差し出し、圧抜きと止水確認を行います。

2 薬液抜き(タンクケース)

- ①タンクケースの扉を開けます。
- ②薬液ボトルを取り出します。
- ③リセットスイッチを1回押し、リセット運転(空運転)を行います。
- ④空の薬液ボトルに市販の消毒用エタノール(未変性)を補充し、タンクケースに装着します。
- ⑤リセットスイッチを1回押し、リセット運転を行います。
- ⑥薬液ボトルを取り出します。
- ⑦空の薬液ボトルを用意し、タンクケースに装着します。

3 電源を抜く

- ①運転スイッチを“OFF”にします(運転ランプが消灯します)。
- ②電源コンセントから電源プラグを抜きます。

注意
●薬液ボトルの装着・取り外しについては7~9ページを参照してください。
●薬液ボトル内の薬液はそのまま長時間放置すると、異物混入や乾燥による固着、異臭、変性を起こす恐れがあるので、すべて破棄してください。また、空になった薬液ボトルは水洗いし、十分に乾燥させてください。
●空の薬液ボトルは、水洗いで十分に乾燥させたものを使用してください。

安心してお使いいただくために、定期的に次のような点検を行ってください。そのとき、もしご不審な点がありましたら、すぐにお問い合わせの販売店もしくは、お問い合わせ窓口(裏表紙に記載)にご連絡ください。

半年~1年に一度
以下の項目の点検を行ってください。
●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか?
●電源プラグにほこりが堆積していませんか?
●電源コードに亀裂やすりキズはありませんか?
●タンクケースや電源プラグ、その他の電気系統において、異常な発熱などはありませんか?
●給水管や排水管、薬液チューブに水漏れや薬液漏れはありませんか?

故障かな?…と思ったら、まず次のことをお調べください。
【取】…取扱説明書(本紙) 【施】…施工説明書(別紙)

症状	調べるところ	ページ
正常に運転しないとき	●運転スイッチが“OFF”(運転ランプが消灯)になっていませんか? ●電源プラグがコンセントにしっかり入っていますか? ●屋内配電盤のブレーカーやヒューズが切れていませんか? ●停電ではありませんか?	取:5 取:6 — —
音がうるさいとき	●本体になにか物が触れていませんか? ●据え付けた壁面がしっかりしていますか? ●製品は確実に固定されていますか?	— 施:7 施:7・8
石けん液が吐出しないとき	●薬液切れ(液切れランプ点滅)ではありませんか? ●ノズルが目詰まりしていませんか? ●リセットスイッチを押しましたか? ●手指センサーが汚れていませんか?	取:4・5・7~9 取:11・12 取:9 取:11
水が吐出しないとき	●止水栓が閉じていませんか? ●水道圧が下がっていませんか? ●手指センサーが汚れていませんか? ●給水メッシュが汚れていませんか?	— — 取:11 取:13

以上のことを調べになり、それでも不具合症状が解消されない場合には、ご自分で修理なさらないで、機能停止要領(下記)に基づいて操作を行い、お問い合わせの販売店、もしくは当社のお問い合わせ窓口(裏表紙に記載)にご相談ください。

機能停止要領	①運転スイッチを“OFF”(運転ランプが消灯)にします。	②電源プラグをコンセントから抜きます。	③止水栓を閉じます。
次の症状のときは、ただちに運転を停止してお買い求めの販売店もしくは、当社のお問い合わせ窓口(裏表紙に記載)にご連絡ください。	(1)ブレーカー、ヒューズがたびたび切れるとき。	(2)電源プラグやコードが異常に熱いとき。	(3)スイッチなどの動作が不確実なとき。
	(4)本体内部に誤って異物や水が入ってしまったとき。		

項目	内容
名 称	自動水栓付泡石けん液供給装置
型 式	WS-P2SNF
外 形 寸 法	W198 × D170 × H97 mm (供給装置本体)
製 品 質 量	約4.5kg(梱包、付属品および薬液は除く)
主 な 材 質	上カバ ー …………… 亜鉛ダイキャスト(ZDC1、Ni-Crメッキ) 前、後 ケー ス …………… 亜鉛ダイキャスト(ZDC1、塗装) タンクケース …… ABS樹脂 コネクタケース …… PP
電 源 電 圧	AC100V 50/60Hz(本体DC12V)
電 源 コー ド	長さ約1.8m
定 格 消 費 電 力	待機時:1W 作動時:7W
給 水 ・ 給 湯 圧 力	0.07~0.59MPa(給水圧力≧給湯圧力)
給 水 接 続 口	G1/2おねじ
排 水 接 続 口	φ32(壁、床排水VP-VU40)
使 用 環 境 温 度	5~40℃(薬液に適切な流動性が保たれていること)
使 用 環 境 湿 度	20~85%(結露なきこと)
セン サ ー 方 式	赤外線センサー
吐 水 量	約4L/分(最大1分間)
吐 出 温 度	単 水 栓:水温(凍結なきこと) 混合水栓:水温(凍結なきこと)~45℃
吐 出 量	約1.8g(0.6秒間)
ボ ト ル 容 量	1L
吐 出 方 式	(液用)ダイヤフラムポンプと(空気用)ダイヤフラムポンプの連動
使 用 薬 液 (※)	石 け ん 液 「シヤボネット P-5」、その他当社指定の石けん液

※ 使用薬液は、当社指定の薬液をお使いください。他社の薬液を使用した場合、トラブルが生じる恐れがありますのでお使いにならないでください。
本仕様は性能向上のため、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

保証について

●裏表紙に保証書が付いています。
保証書に必要事項をご記入のうえ、内容をご確認いただき大切に保管してください。

●保証期間はご購入の日から1年間です。
なお、保証期間内でも有料修理になることがありますので、保証書をよくお読みください。

●保証期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、もしくは当社のお問い合わせ窓口(裏表紙に記載)にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

●保守部品の最低保有期間は、製造日から5年です。
保守部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。最低保有期間が経過した場合、修理が不可能になるが、可能であっても、修理費用や修理期間が保有期間内とは異なることがあります。保有期間内であっても、部品供給メーカー等の都合で、修理が不可能になる場合があります。

アフターサービスについて

●アフターサービスでお困りの場合は
アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合はお問い合わせの販売店、もしくは当社のお問い合わせ窓口(裏表紙に記載)にご相談ください。
※故障の場合は、ご購入日、本製品の型式と、できるだけ詳しい故障状態をお知らせください。

●転居されるときは
ご購入日より、お問い合わせの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もってお問い合わせの販売店、もしくは当社のお問い合わせ窓口(裏表紙に記載)にご相談ください。ご購入先での販売店、もしくは最寄りの当社サービス拠点を紹介させていただきます。

サラヤメンテナンスシステム

本製品のメンテナンスは、当社サービスマンがお引き受けいたします。設置された本製品は、1台ずつ資料を当社にて記録しメンテナンス報告に基づいて本製品のご利用状況をお知らせするなど、きめ細やかなアフターサービスで、ご担当者のお手伝いもしております。